

2014年8月1日

各 位

株式会社 埼玉りそな銀行

## キャンペーンにおける「障害者アート」の採用について

りそなグループの埼玉りそな銀行(社長 池田 一義)は、本日から実施するキャンペーンのノベルティグッズとして「障害者アート」を採用いたします。

「障害者アート」は、障害者の自立や社会参加を実現する可能性を持った、芸術性・創造性あふれる「障害者の芸術・文化活動」です。当社はこれまでも、埼玉県が2009年から開催している「埼玉県障害者アートフェスティバル※」に毎回協賛するなど、「障害者アート」を支援してまいりました。

今回、埼玉県内の障害を持つアーティスト5名の作品のポストカード20,000セット(5枚1組)を下記キャンペーンのノベルティグッズとして採用するほか、「障害者アート」について紹介したチラシ30,000部を全店で配布いたします。「障害者アート」を当社のお客さまに広く知っていただくことで、障害を持つアーティストの皆さんの自立に向けたチャレンジを積極的に支援いたします。

※障害者が創り出す美術・芸術作品の社会的評価を高め、障害者の経済的自立や社会参加に結び付けるために埼玉県が主催する舞台芸術公演や美術作品の展覧会などのイベント。2009年から始まった取組みで、これまでに4回開催されています。

## 【対象キャンペーン概要】

名 称	生体認証情報登録キャンペーン
期 間	2014年8月1日(金)～8月29日(金)
内 容	キャンペーン期間中にICキャッシュカードへ生体認証情報(指静脈認証)をご登録いただいたお客さま先着20,000名さまに障害者アートポストカードをプレゼントいたします。

以 上

## 【別紙】ポストカードに採用する作品のご紹介



作者名：miyoko(みよこ)

作品名：「無題」

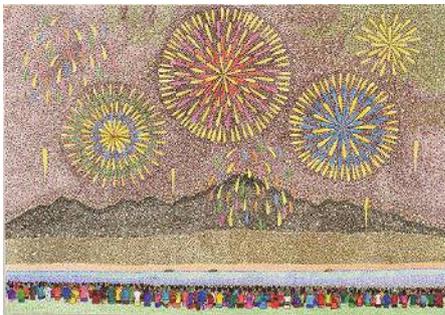
作者紹介：miyokoさんは2007年から絵を描き始めました。一つひとつ重なった花びらがとても美しいこの絵は、花を紙の中央から描き始めたそうです。



作者名：相田 大希

作品名：「夢を食べる魚」

作者紹介：独特な色づかいが生命力を感じさせる相田さんの作品。心に感じたまま自由に描いています。2002年から10回も二科展に入選・準入選を果たしています。



作者名：石井 章

作品名：「相模湖の花火大会」

作者紹介：点描が美しく魅力的な石井さんの作品。描き方を誰かに教わったわけではありません。描きたいという気持ち爆発的に溢れ出て、これまで950点以上制作されているとのこと。



作者名：岡田 亜弓

作品名：「夏」

作者紹介：ポップな画風と内面を表現する画風を描き分けることができる岡田さん。集中力がすごく、描き終わった後はスッキリとさわやかな顔になっているそうです。



作者名：中崎 強

作品名：「春の花」

作者紹介：中崎さんは足を使って描いています。いろいろな風景や花が頭の中に浮かんで来て、絵を描いているときは嫌なことも辛いことも忘れられて楽しいといいます。二科展に入選した大作もあります。